

添付資料：
市川海岸ハビタット分布図



捨石上に付着するマガキ



滞筋底部の状況

ミノウミウシ類



【①：護岸直下】

捨石上にマガキが多数付着。カキ殻の間隙は巻貝類や甲殻類の棲み場として利用されている。海藻藻類の付着はほとんどみられない。
 ・水深：干出～約50cm程度
 ・主な動物：マガキ、タマキビガイ、イボニシコウロエンカワヒバリガイ(猫実川河口周辺)
 ・ケフサイソゴニ、イシガニ等



ヤマトオサガニ



干出時の泥干潟

【③：泥干潟】

大潮の最干時に干出する。年間の干出時間は40時間前後。底質はシルトからなり、アナジャコ、ヤマトオサガニ等により代表されるエリア。
 ・水深：干出～約180cm
 ・主な海藻藻類：アオサ
 ・主な動物：ウミゴマツボ、イトゴカイ属、アナジャコ、ヤマトオサガニ

【②：滞筋底部】

浮泥が厚く堆積する。水中視界が10cm以内で濁りが強い。
 ・水深：約1.5～2.6m
 ・主な海藻藻類：ハネモ、オゴノリ
 ・主な動物：多毛類、ミノウミウシ類



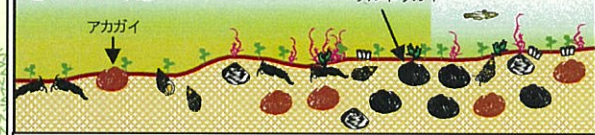
底質の状況(シルト底)
(ビリンゴと生息孔)



サルボウガイ



【シルト域】



【④：シルト域】

底質はシルトからなり、サルボウガイ、アカガイ、アサリにより代表されるエリア。
 ・水深：約干出～150cm
 ・主な海藻藻類：アオサ(所により被度100%で繁茂する)
 ハネモ、オゴノリ
 ・主な動物：アラムシロガイ、サルボウガイ、アカガイ、アサリ、マンハッタンボヤ、ヒメハゼ、マハゼ等

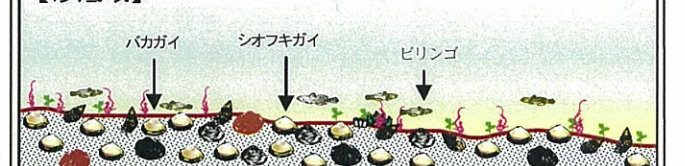
シオフキガイ



底質の状況(砂底)



【砂底域】



【⑤：砂底域】

底質は細砂からなり、シオフキガイ、バカガイにより代表されるエリア。
 ・水深：干出～約150cm
 ・主な海藻藻類：アオサ(所により被度100%で繁茂する)、ハネモ、オゴノリ
 ・主な動物：アラムシロガイ、シオフキガイ、バカガイ、ニホンドロソコエビ、ビリンゴ

ハビタットの凡例

- ① 護岸直下
- ② 滞筋底部
- ③ 泥干潟
- ④ シルト域
- ⑤ 砂底域
- ⑥ カキ礁

底質等の凡例

- シルト
- シルト混じり砂
- 細砂
- アオサ繁茂域



干出時のカキ礁



【⑥：カキ礁】

猫実川河口より約450m沖に位置するカキ礁。生息密度は1㎡当たり約300～600個体。生貝の割合は周辺部ほど高く60%程度。カキ殻の間隙は様々な生物の棲み場として利用されている。



・水深：干出～約1.5m
 ・主な海藻藻類：アオサ、オゴノリ
 ・主な動物：タマキビガイ、アラムシロガイ、マガキ、ウネナシヤマガイ、メリタヨコエビ属、ユビナガホンヤドカリ、ケフサイソゴニ等
 ※周辺部には100㎡前後の小規模なカキ礁が散在する。

市川海岸におけるハビタット分布図

(出典：平成17年度市川海岸塩浜地区護岸検討委員会資料)